

コンセプト



多世代が心地よく過ごせる交流拠点

基本的な方向性

普段使いできる
居場所づくり

多目的利用ホール
を有する複合機能

まちなかを訪れる
賑わいづくり

- ・誰もが（学生、高齢者、働く人、子育て世代…）利用でき、自分のやりたいことを叶える場所
- ・施設で気軽に滞在でき、また、行くついでにまちなかを利用し、交通機関の待ち時間に利用できる場所

分類	施設機能についての主な意見
広場・フリースペース	学生や高齢者など、多世代の居場所となるような空間 屋外で屋根のあるイベント空間 バスの待合 子ども達が遊べる空間 オープンスペース
文化ホール	本格的な音響設備 ステージ幅の確保（座席数は500～600席＋立ち見）、スクリーンの配置 興業や文化活動に携わる運営者の人材育成
コンベンション	移動式ステージと多目的利用可能な空間（催事、結婚式、子どもの発表会、小音楽会など）
商業店舗	子どもの活動を見守る親の休憩機能（カフェ、イートインなど） コンビニ等の収益事業へのテナント誘導（民間誘導）
会議室	多用途にフレキシブルな利用可能な設定 スタジオ機能、オンライン設備（eスポーツ、オンライン指導など） 市庁舎会議室との兼用
その他機能	市役所機能（窓口等一部）の併設 街なかでの一時避難場所機能（屋上等） 図書機能（分館）、ワークスペース バスターミナル機能 広い駐車スペース

カフェ機能

子どもの活動を見守る休憩場所
居場所

多機能ホール コンベンション

文化、催事、結婚式、小音楽会
会議、ビアパーティーなど

会議室（兼用）
スタジオ、オンライン設備

市庁舎機能

一部、窓口サービス等
(市民・社会教育活動支援)

ホール機能

500～600席
音響、ステージ
興行、運営者育成

図書機能

広場、フリースペース

多世代の居場所、イベント空間、子ども達の遊び場

バス待合機能
結節点